



特集

## リニア駅ができるまち飯田 ～駅前広場と関連工事～

小学生がリニア関連工事の現場を見学

【座光寺上郷道路 土曾川函渠工事現場】

子どもたちがいる場所に道路ができます。

リニア駅へのアクセス向上のため、道路の新設・拡幅工事が進んでいます。動画でも紹介していますので、右記QRコードからご覧ください。



# リニア駅が できるまち飯田 ～駅前広場と関連工事～

今回の特集では、駅前広場について出前講座などで皆さんからいただいた質問にお答えするとともに、リニア関連工事の進捗を合わせてお伝えします。



南側多目的広場  
(駐車場)

南側交流広場

コミュニティ広場



## リニア駅前広場 Q & A

### 広場には何ができるの？



**売店やカフェなどの建物はできないの？**

広場の管理運営をする事業者(会社などの集まり)を組織し、その事業者とカフェや売店などの施設について検討します。駅周辺の景観に配慮し、都会のような駅に直結した駅ビルではなく、1つ1つが独立した低層な建物を建設する予定です。そうすることで建物の更新や改修が容易になります。



**地域の魅力を発信する場所はないの？**

地元の特産物や食など、地域の魅力や情報を発信する施設を計画していきます。天龍峡や遠山郷など、周辺各地域へ「実際に行ってみよう」と思えるようなきっかけを作ります。

### 広場ってどうなるの？



**リニア駅前広場ってなぜこんなに緑が多いの？**

環境にやさしい駅を目指しているからです。駅舎から外に出た際に、信州・伊那谷らしい豊かな自然風景を感じてもらいたいと考えています。

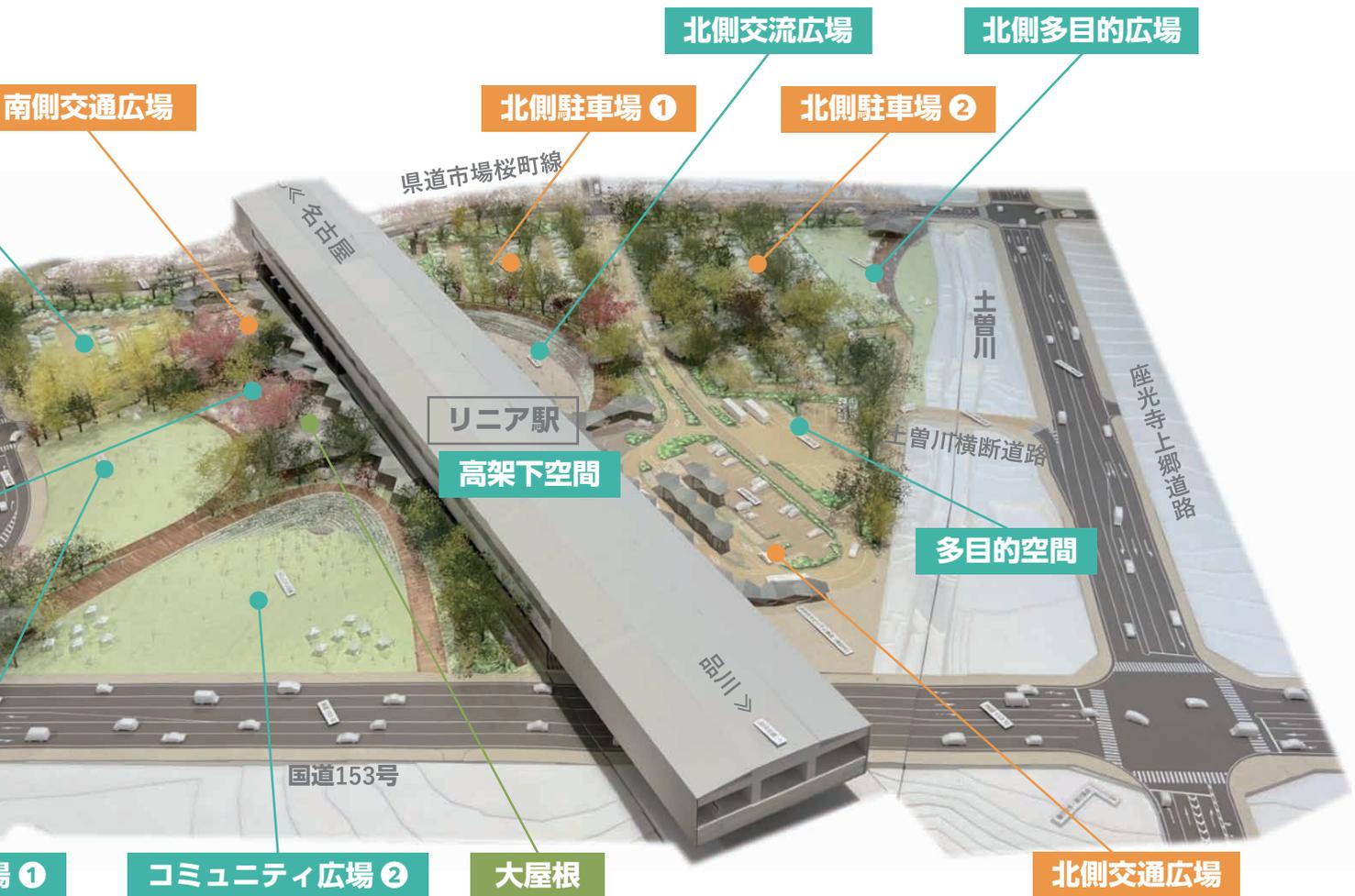


**市民が自由に使える場所はあるの？**

高架下空間、北側交流広場、南側交流広場、北側多目的広場、コミュニティ広場は目的に合わせてイベントなどで利用することができます。今後、皆さんと活用方法を検討していきます。

## リニア駅前広場の概要

※本模型は検討中のイメージです



### リニア駅の交通ってどうなるの？



#### 駐車場はどのくらいあるの？

開業時には、約500台を整備する予定です。リニアの利用者だけでなく、駅前広場を使う方の利用も想定しています。レンタカーやカーシェアにも対応できるスペースも検討しています。



#### リニア駅から目的地までの移動手段は？

バスやタクシーだけでなく、リニア駅と飯田線の既存駅や各地域拠点を結び、新しい公共交通を整備する予定です。

技術の進歩に合わせ、自動運転車などの未来の乗り物の導入も検討していきます。

### 維持管理ってどうなるの？



#### 木や雑草の管理が大変じゃないの？

維持管理しやすい樹木の種類、地域に合った草花を選定します。  
地域の方に愛される駅前広場を目指します。



#### 木造の大屋根は整備やメンテナンスにお金がかかるんじゃないの？

木造はメンテナンスに手間はかかりますが、地元産木材を積極的に使用することや地元工務店などが管理を行うことで、地域内の経済循環を生むことができます。

また、木材を使用することで森林資源の活用サイクルが生まれ、地球温暖化対策にもつながります。



写真で見る

# 飯田市内のリニア本線事業

## 中央アルプストンネル(松川工区)

令和4年8月から名古屋方面へ本線トンネルの掘削が行われており、令和5年12月時点で約800m進んでいます。今年も引き続き本線トンネルの掘削が行われます。中央アルプストンネルは松川右岸坑口から岐阜県中津川市までの区間で、総延長約23.3kmです。そのうち、松川工区は約4.9kmです。



## 風越山トンネル(黒田工区)

令和5年8月に、非常口トンネルの掘削が始まりました。今年も引き続き非常口トンネルの掘削が進められ、その後、本線トンネルの掘削が行われます。

風越山トンネルは、黒田工区と上郷工区を合わせた区間で、総延長は約5.6kmです。



## 風越山トンネル(上郷工区)

令和5年3月～4月にかけて本線トンネルのルートや掘削工事に関する検討状況についての説明会が行われました。今年、準備が整い次第、トンネル掘削のための準備工事などが行われる予定です。

## 天竜川橋りょう

天竜川橋りょう(飯田市側)は、令和5年10月から橋脚の基礎などの本体工事が始まっています。今年、非出水期間(10月～翌年5月末)に、下部工工事(※1)が行われます。喬木村側を含めた天竜川橋りょうは約0.5kmです。

## 駅部区間

令和5年10月から土曾川を渡る橋りょうの東側橋脚(座光寺共和)建設に着手し、同年11月からは竜西一貫水路の付替え工事にも着手しました。今年は上記の工事に加え、土曾川右岸側の中央橋脚(上郷北条)建設なども行われる予定です。





写真で見る

# リニア関連道路事業の状況

## 座光寺スマートIC 接続道路

座光寺スマートICと座光寺上郷道路を結ぶ接続道路を造っています。座光寺上郷道路の開通に合わせ、今年も引き続き道路改良を進めます。



## 座光寺上郷道路

リニア駅と座光寺スマートICを結ぶ約3.2kmの新設道路となる座光寺上郷道路は、土曾川の函渠工事(※2)や、JR飯田線の下を通過するためのアンダーパス工事が行われています。今年は橋りょう架設工事や栃ヶ洞川函渠工事が行われる予定です。



## 国道153号飯田北改良

高屋交差点から座光寺交差点までの約2.6kmを片側2車線の4車線に拡幅します。令和5年3月から新戸川横断箇所に迂回路を構築し、新戸川函渠工事が行われています。今年は新戸川上流側の函渠工事が行われる予定です。



## 県道市場桜町線

中心市街地とリニア駅を結ぶ約1.4kmの区間を片側1車線の2車線(両側歩道)に拡幅します。令和5年度は土曾川橋りょうの右岸下部工工事と飯沼南地区の市道付替工事、市道五郎田線北側の新設交差点付近の拡幅工事が行われています。今年は上記工事に加え、竜坂の一部区間の拡幅工事にも着手する予定です。



(※1) 下部工工事：  
橋りょうの橋脚を構築する工事

(※2) 函渠工事：  
横断面が四角形の  
トンネル河川を構築する工事

## 問い合わせ

- リニア本線の工事に関すること
  - 駅周辺整備・市道改良に関すること
  - 用地に関すること
  - 県が進める道路改良・座光寺SIC・接続道路に関すること
- |         |        |
|---------|--------|
| リニア推進課  | 内線3322 |
| リニア整備課  | 内線3332 |
| リニア用地課  | 内線3351 |
| 国県関連事業課 | 内線3765 |

※リニア関連の詳細は市ウェブサイトをご覧ください。

市HP [リニアのまちづくり・いいだ](#) 🔍 検索

# 地震に備えて再確認を!

## 災害に備えて 非常持ち出し品の準備をしましょう

各家庭で“いざという時”に備える「非常持ち出し品」。災害時、被災地に救援物資が届くまで日数がかかるといわれています。7日以上を自らの備えでしのぐために「1次持ち出し」、「2次持ち出し」の2段階で考えてみましょう! 下のリストを参考にあなたのご家庭に必要な持ち出し品を検討し、是非用意をしてみてください。

### 非常持ち出し品 基本品目31点 ※大人ふたり分の必要な量

非常持ち出し品とは、避難時に即座に持ち出す生活必需品の最低限の備えで、非常時の最初の1日間をしのぐための物品です。

- 1 非常持ち出しリュック(袋)  
※両手がふさがらないような対策を心がけてください
- 2 アルファ化米などの美味しい主食…6食分  
※四季を通して腐ったりしないもの(賞味期限の確認を)
- 3 ペットボトル入り飲料水(500ml)…6本  
※大人1日ひとりあたり1500mlを目安
- 4 懐中電灯…2個(ランタン式が便利)
- 5 ローソク…2本
- 6 ライター…2個
- 7 携帯ラジオ…1台  
※最近は、スマートフォンでもラジオを聴くことができます
- 8 万能ばさみ…1個
- 9 軍手・手袋…2対
- 10 ロープ(7m)…1本
- 11 救急袋…1個
- 12 毛抜き…1本
- 13 消毒液…1本
- 14 脱脂綿…適量
- 15 ガーゼ(滅菌)…2枚
- 16 絆創膏…10枚程度
- 17 包帯…2巻
- 18 マスク…20枚程度 ※不織布マスクを常備
- 19 三角巾…2枚
- 20 常備薬・持病薬…適量
- 21 レジャーシート2畳分…1枚
- 22 サバイバルブランケット…2枚
- 23 簡易トイレ(凝固剤入り袋)…10枚  
※大人1日ひとりあたり5回/日
- 24 タオル…4枚
- 25 ポリ袋…4枚
- 26 トイレトペーパー…1ロール
- 27 ウエットティッシュ(携帯用)…2個
- 28 現金(公衆電話で使用できる硬貨など)
- 29 ガムテープ(布製)…1個
- 30 油性マジック(太)…1本
- 31 筆記用具…1セット



#### このほかに

●携帯電話 ●携帯電話用充電器 ●貴重品 ●女性用品 ●高齢者用品 ●乳幼児用品

※非常持ち出し品はいざという時に素早く持ち出せる様にまとめておきましょう。

※袋の重量は一般的に男性15kg、女性10kgが目安とされています。

### 備蓄品 ※必要な量は避難者の人数に合わせて検討ください

備蓄品とは、避難した後、少し余裕が出てから安全を確認したうえで自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または宿泊施設や自宅で避難生活を送るうえで必要な物品です。



#### 飲料水(非常用給水袋)

2Lペットボトル6本入りを持ち運びやすい様に箱で備えておく

#### 衣類

上着、下着、靴下はもとより、季節に応じた服装を適量

#### 食料

アルファ化米、インスタントラーメン、レトルト食品などお湯で出来上がるもの

#### 生活用品

タオル、毛布、雨具、卓上コンロ、ガスボンベ、ラップ、アルミホイル、キャンプ用食器、割りばし、便袋

## 地震が起きたら…まずは身の安全を確保

揺れているとき



机の脚をつかみ、机の下に隠れ、  
頭を守る

揺れているとき



冷蔵庫や本棚など倒れる可能性のあるもの、  
ガラス、キャスター付きの家具などから離れる

揺れているとき



トイレ・浴室・脱衣所にいたら閉じ  
込められるのでドアを開ける

揺れているとき



就寝していた場合は、布団で  
全身を覆う

揺れが収まったら



クッションや厚手の雑誌で頭部を  
保護しながら行動する

揺れが収まったら



火の元を消す

揺れが収まったら



耐震性のない建物から  
ブレーカーを切り、屋外へ出る

揺れが収まったら



自宅が危険な場合は、災害時備蓄品  
(水、食料、常備薬など)を持って避難する

揺れが収まったら



避難先は、知人宅やホテル、避難所、車中泊  
など、今よりも安全で行きやすいところへ  
※いざという時家族で合流する場所を決めておく

## 住宅の耐震をしましょう

昭和56年5月以前着工の木造住宅にお住まいの方は、**無料耐震診断**を受けられます。

令和5年度の申込受付は終了しましたが、令和6年度は5月1日から受付を開始する予定です。  
条件を確認の上、お申し込みください。

HP [飯田市 耐震診断](#) 🔍 検索

問い合わせ / 危機管理課 防災係 内線2437

## 学輪IIDA全体会 全国の知が集い、学び合う



意見発表した津田塾大学の学生と飯田市学生レポーターいいレポ☆



東京大学牧野篤教授による基調講演

飯田に関心を寄せる大学などの研究者によるネットワーク組織「学輪IIDA」の全体会を、1月20日ムトスぷらざで開催し、大学教授のほか、市民の方など120名が集いました。飯田の将来や可能性について学輪IIDAメンバーや学生から発表・提案があり、参加者全員で飯田の未来を考える機会となりました。

## フレイル予防の集い 健康で暮らすために



右手と左手で異なる動きをする体操



高校生と一緒に脳トレに挑戦

2月1日フレイルの日に「フレイル予防の集い」を初めて開催しました。「フレイル」とは、「健康」と「要介護」の中間の状態のことで、生活習慣を見直すことで健康な状態に戻ることができると言われています。

約40人が参加し、日ごろから心掛けておきたい「運動」「食事」「お口の健康」について学びました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。  
ぜひご覧ください。

QRを  
スキャン



Instagram

## エシカル消費啓発キャラ 「エシカッパ」誕生



SDGsの17色の甲羅とハスの葉を持ち、人や社会、環境や地域に配慮した思いやりの消費行動「エシカル」を推進します。 詳細はこちら→



## ジブン・チャレンジ文化講座 中学生が多様な体験



1月27日、中学生を対象に、競技かるた、ギター、将棋、科学マジック、料理、ロボコンなどの体験講座を開催しました。競技かるた講座では、迫力ある模擬試合の披露もありました。

## 源泉掘削工事安全祈願祭 かぐらの湯復活へ



1月28日、「道の駅遠山郷かぐらの湯」新規源泉掘削工事の安全祈願祭を行いました。令和7年秋の道の駅グランドオープンを目指しています。ふるさと納税の制度による寄附も募集しています。(18ページ)

## 令和6年能登半島地震 災害応援職員を派遣



災害廃棄物処理の応援に向かう(1月17日)

被災した地域の支援のため、災害廃棄物処理のほか、給水車や医療チーム、被害家屋の調査や避難所運営、下水道の被害調査などに飯田下伊那の市町村から職員を派遣しています。

# 現代版 養生訓

災害への備え  
～地域全員で災害について考えよう～



救急科／救命救急センター  
坂本 広登 医師

令和6年1月1日16時10分頃、能登半島をマグニチュード7.6の大地震が襲いました。発災当日は飯田市も震度3の揺れを感じ、年始の参拝や自宅で家族の皆様と過ごされる中で不安を感じられた方々も多かったのではないのでしょうか。今回、飯田市立病院からもDMAT（災害派遣医療チーム）が1月2日より現地に入り活動していますが、今までの災害と異なり、悪天候と地震による道路の裂け目などで被災現場へなかなか辿り着けないという状況が発生し、水道配管が至るところで壊れ、生活面、医療的な面で長期的な支援が必要な災害となっています。

飯田市が被災地域となる地震として、伊那谷断層帯の地震、および、南海トラフ巨大地震があり、今回の地震よりさらに被害が甚大になる可能性があります。大災害を乗り越えるための今すぐにできる事前準備について2点共有させていただきます。

## ①自宅からの避難方法、避難場所の確認

自宅が被災した場合に、皆さんはどの動線で安全に自宅から脱出し、どこに避難しますか？

一度、避難場所までの道のりを家族で話しなが歩いてみる事をお勧めします。

## ②災害持ち出しバッグの準備

最低限72時間、自身や家族の生活を維持できる準備（水、食料、簡易トイレ、常備薬、タオルや衣類、身分証明書など）を持ち出せる所に置いておきましょう。この地域が被災した場合に近隣県も相当な損害を受け、早期の援助が得られない可能性が高いです。

災害拠点病院である当院は、この地域を災害から守るために地域の皆さまと一丸となって準備を行っていく所存です。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.36

## 上を向いて歩こう

### 市長室から

市長 佐藤 健



改めて、能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震の状況は、私たちにとって決して他人事ではありません。今、飯田市が同じような大きな地震に見舞われたら対応できるか、1つ1つ検証しながら、備えを強化していかなければと考えています。

また、コロナ禍の3年間で地域の防災力が低下しているのではという懸念もあります。いざという時には、日頃のご近所づきあい、顔の見える関係がものを言います。今年は、自治基本条例や公民館活動について地域の皆さんとともに改めて学び直す年にしたいと思っています。

この原稿を書いている1月末現在、今なお1万4千人を超える方々が避難所に身を寄せておられます。大切な人を亡くした方、住む家を失った方・・・ライフラインもままならず、先が見通せない中、どんな思いで毎日を過ごしておられるか、想像するだに心が痛みます。

被災した方々に今「前を向いて」と言うのが酷だとすれば、東日本大震災のときがそうだったように、せめてこの歌が勇気を与えてくれることを祈ります。そして、「ひとりぼっち」という思いを抱かずに済むように、できる限りの支援と私たちの思いを届けたいと思います。

（追伸）被災地向けの募金、珠洲市向けの義援金・ふるさと納税にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。